

千葉市感染症発生動向調査情報

2020年 第19週 (5/4-5/10) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	19週	18週	17週	16週
小児科	18	15	18	18
眼科	5	4	5	5
インフルエンザ*	28	22	28	28
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	5/4-5/10	4/27-5/3	4/20-4/26	4/13-4/19	4/27-5/3
			19週	18週	17週	16週	18週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	0
	咽頭結膜熱		0	1	1	0	3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	6	8	11	62
	感染性胃腸炎		17	16	17	13	97
	水痘		0	1	1	0	8
	手足口病		1	0	3	0	3
	伝染性紅斑		0	0	1	1	8
	突発性発しん		2	3	12	10	23
	ヘルパンギーナ		1	0	0	0	0
	流行性耳下腺炎		0	0	1	4	4
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		1	1	1	1	3
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		1	1	0	0	2
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	1
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(4件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	20歳代	IGRA検査等	梅毒	女性	20歳代	血清抗体の検出
レジオネラ症	男性	70歳代	病原体抗原の検出	新型コロナウイルス感染症	男性	50歳代	病原体遺伝子の検出

・第19週は、結核1件(57)、レジオネラ症1件(4)、梅毒1件(9)、新型コロナウイルス感染症1件(97)の発生届があった。

※ ()内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第19週のコメント

過去10年の同時期と比べて全て平均未満となっている。

<トピック>

<新型コロナウイルス感染症>

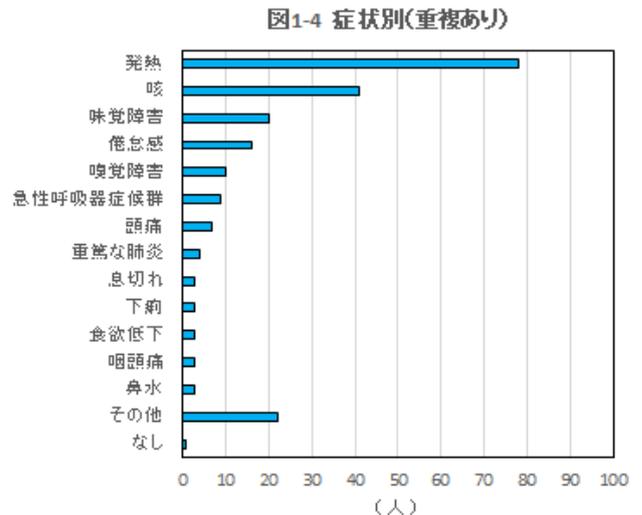
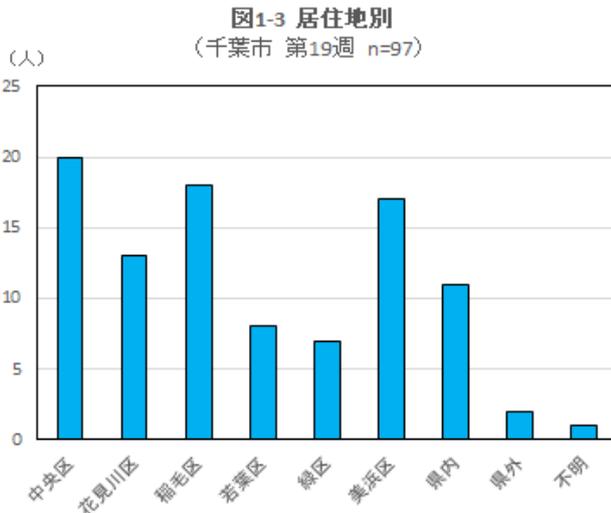
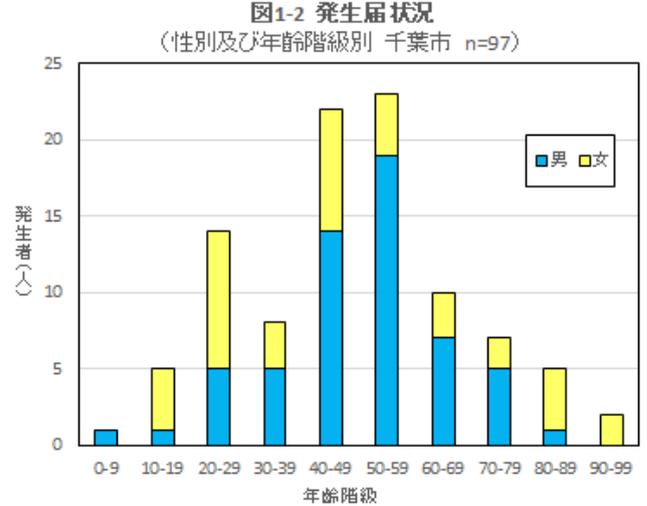
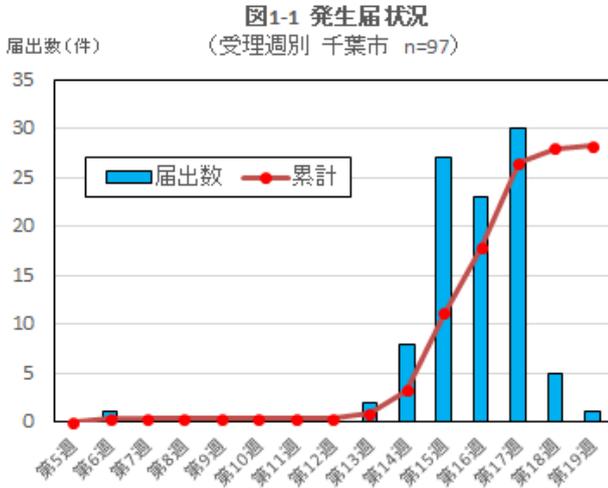
・発生届

第14週から急激に増加し、第17週をピークとして以降激減し、第19週は1件の届け出となり、合計は97件となっています(図1-1)。

性別では男性が58名(59.8%)、女性が39名(40.2%)で、年齢層は0歳から90歳代まで、年齢中央値は全体で51.1歳で、男性で50.6歳、女性で51.9歳となっています。年齢階級別では50歳代(23名:23.7%)、40歳代(22名:22.7%)、20歳代(14名:14.4%)の順に多くなっています。男性は30歳代~70歳代で占める割合が高いことに対して、女性は10歳代、20歳代及び80歳代以上で占める割合が高くなっています(図1-2及び表1)。

居住地別では、中央区(20名:20.8%)、稲毛区(18名:18.6%)、美浜区(17名:17.5%)の順で多くなっています(図1-3)。

症状は、発熱(78名:80.4%)、咳(41名:42.3%)、味覚障害(20名:20.6%)の順で多くなっています(図1-4)。



中央値	50.6	51.9	51.1	
年齢層	男	女	計	
0-9	1	0	1	1.0%
10-19	1	4	5	5.2%
20-29	5	9	14	14.4%
30-39	5	3	8	8.2%
40-49	14	8	22	22.7%
50-59	19	4	23	23.7%
60-69	7	3	10	10.3%
70-79	5	2	7	7.2%
80-89	1	4	5	5.2%
90-99	0	2	2	2.1%
100-	0	0	0	0.0%
計	58	39	97	100.0%
	59.8%	40.2%	100.0%	

表1 性別及び年齢階級別

・ウイルス検査

千葉市環境保健研究所では、2020年第19週(2020年5月10日時点)までに2736例(検体数2921)について新型コロナウイルス感染症の検査を実施しました。搬入された市中感染・輸入例疑い事例は2490例(うち陰性化確認等194例)となっており、この他クルーズ船関連事例191例(うち陰性化確認126例)、その他陰性化確認等55例の検査を実施しました。

そのうち、陰性化確認等194例を除いた市中感染・輸入例疑い事例2296例(検体数2430)について(図2-1)は、陽性は97例(陽性割合:4.22%)でした(図2-2)。陽性97例のうち、男性は58名(59.8%)、女性は39名(40.2%)で、年齢階級別では、50歳代(23名:23.7%)、40歳代(22名:22.7%)、20歳代(14名:14.4%)の順で多くなっています(図2-3)。

図2-1 新型コロナウイルス感染症市中疑い事例PCR検査状況

(週別 千葉市:5月10日現在 n=2296)

(クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く)

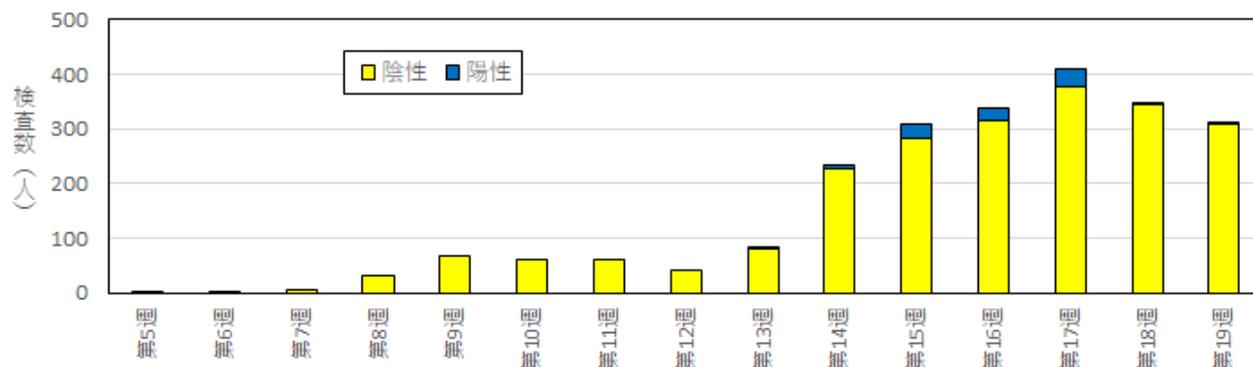


図2-2 新型コロナウイルス感染症市中感染疑い事例PCR検査状況

(年齢階級別 千葉市:5月10日現在 n=2296)

(クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く)

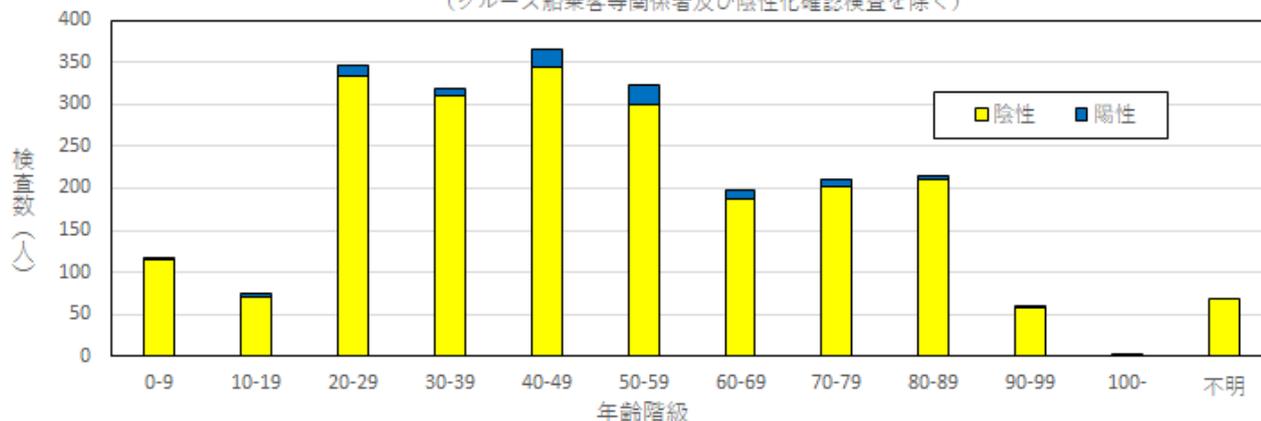


図2-3 新型コロナウイルス感染症市中陽性者

(性別及び年齢階級別 千葉市 5月10日現在 n=97)

